

- 問1

愛知県は日本最大の製造品出荷額を誇る県ですが、その工業出荷額の内訳において、自動車産業などの機械工業を含む「重工業」の占める割合が非常に高いという特徴があります。この愛知県を中心として発達している、日本を代表する工業地帯の名称として適切なものはどれですか。

(2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 瀬戸内工業地域

2. 阪神工業地帯

3. 京浜工業地帯

4. 中京工業地帯
- 問2

2019年の工業統計において、製造品出荷額の上位を占める愛知県や静岡県に共通する特徴として、最も大きな割合を占める工業部門とその具体的な生産品の内容について説明したものを選べなさい。

(2024年 高山県公立入試 類似)

1. 輸送用機械工業が中心であり、自動車やその部品、オートバイなどを製造している。

2. 化学工業が中心であり、プラスチックや医薬品などの化学製品を大規模に製造している。

3. 金属製品工業が中心であり、建築材料や工具などの金属加工品を製造している。

4. 電気機械工業が中心であり、スマートフォンや半導体などの電子部品を製造している。
- 問3

夏でも涼しい高冷地の気候を利用した抑制栽培が盛んで、長野県が全国トップクラスの生産量を誇る野菜として正しいものを、次のうちから1つ選べなさい。

(2026年 熊本県公立入試 類似)

1. トマト

2. レタス

3. きゅうり

4. キャベツ
- 問4

中部地方の工業、特に中京工業地帯における「輸送用機械器具製造業」の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2016年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 自動車や航空機などの製造を指し、広大な用地と膨大な数の関連部品工場を必要とするため、裾野の広い産業構造を形成している。

2. 海外から輸入した原油を加工して燃料や化学製品を作る産業であり、大規模な石油コンビナートが海岸沿いに形成されている。

3. 高度な技術を要する電子辞書やデジタルカメラの製造が中心であり、製品の軽量化により空港近くの内陸部に工場が集中している。

4. 石炭や鉄鉱石を原料に鋼材を作る産業であり、高度経済成長期に大型の製鉄所が建設されたことで発展を遂げた。
- 問5

石川県の能登地方で生産され、下地に「地の粉（じのこ）」と呼ばれる土を混ぜることで丈夫な塗膜を作る、北陸地方を代表する漆器の名称を選択してください。

(2022年 和歌山県公立入試 類似)

1. 輪島塗

2. 会津塗

3. 南部鉄器

4. 西陣織
- 問6

5万分の1地形図「上野原」における、ある地点の状況を説明した次の文章を読み、その地点の地形と土地利用の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。「東西に延びる直線状の道路沿いに位置しており、その道路のすぐ北側には等高線が非常に密集している場所がある。また、道路のすぐ南側には中央本線の線路が並行して走っている。」

(2019年 東京都公立入試 類似)

1. 大きな河川を渡るための長い橋が架かっており、線路と道路が立体交差している場所

2. 周囲に果樹園が広がるなどらかな傾斜地で、駅前には商店街が形成されている場所

3. 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所

4. 等高線の間隔が広く、大規模な住宅団地を造成するために森林が切り開かれた場所
- 問7

富山県の砺波平野に見られる散村では、かつての地形図と現在のものを比較すると、家々の間を縫うように走っていた細く曲がりくねった道路が、格子状の直線的な道路へと変化している様子が確認できます。このような景観の変化をもたらした主な背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2018年 東京都公立入試 類似)

1. 急速な宅地化が進んだことで、かつての農道が廃止され、住宅地を優先した都市計画道路が新設されたため。

2. 減反政策の影響で水田が大幅に減少し、余った土地をバイパス道路などの公共用地に転用したため。

3. 鉄道網の廃止に伴い、線路跡地を生活道路として再利用したことで、広い直線道路が確保されたため。

4. 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。
- 問8

日本の都道府県別のお茶の生産量に関する統計において、国内生産量の約四割（39.6%）を占め、全国一位となっている都道府県はどこですか。

(2017年 高知県公立入試 類似)

1. 鹿児島県

2. 京都府

3. 三重県

4. 静岡県
- 問9

中部地方の各県の統計において、愛知県よりも人口規模が小さく、日本海側に位置する石川県の特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。農業産出額の主要品目に着目して答えなさい。

(2023年 埼玉県公立入試 類似)

1. 内陸部に位置するため、米の生産は行われず、果実の産出額が県全体の9割を占めている。

2. 中部地方で最も人口が少ない県であり、米の産出額が全国で最も高い。

3. 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。

4. 愛知県よりも人口が多く、農業産出額のほとんどが畜産によって占められている。
- 問10

長野県などで盛んな、夏の涼しさを利用したレタス栽培の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2019年 長崎県公立入試 類似)

1. 大消費地に近い立地を活かし、鮮度を保ったまま短時間で市場へ輸送している。

2. 標高が高い地域の気候を利用し、平地の出荷が少なくなる夏季に合わせて生産・出荷している。

3. 冬でも温暖な気候を活かし、他の地域が生産できない冬から春にかけて出荷している。

4. ビニールハウスや温室を利用し、平地よりも早い時期に収穫して出荷している。
- 問11

川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。

(2024年 長野県公立入試 類似)

1. 砂や礫が積み水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。

2. 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並ぶ工業地域となった。

3. 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してできた水はけの悪い低地となっている。

4. 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。
- 問12

日本海に大きく突き出た能登半島を擁する石川県において、その行政の中心である県庁所在地として正しい都市名を選択してください。

(2017年 秋田県公立入試 類似)

1. 新潟市

2. 金沢市

3. 富山市

4. 福井市

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中京工業地帯	愛知県は豊田市を中心とした自動車産業の集積が著しく、輸送用機械などの重工業が県全体の工業を牽引しています。この地域一帯は中京工業地帯と呼ばれ、1977年以降、日本で最も出荷額の多い工業地帯としての地位を確立しています。他の工業地帯と比較しても、機械工業の割合が際立って高い点が大きな特徴です。
問2	答え 1 輸送用機械工業が中心であり、自動車やその部品、オートバイなどを製造している。	中部地方から東海地方にかけての工業地帯・地域（中京工業地帯や東海工業地域）では、一貫して輸送用機械工業の割合が高いことが特徴です。愛知県の自動車、静岡県のアートバイや自動車部品などは、日本の輸出産業を支える中核となっており、統計データにおいてもその出荷額の大きさが顕著に現れます。
問3	答え 2 レタス	長野県などの高冷地では、夏の涼しい気候を生かして出荷時期を遅らせるレタスの抑制栽培が盛んに行われています。
問4	答え 1 自動車や航空機などの製造を指し、広大な用地と膨大な数の関連部品工場を必要とするため、裾野の広い産業構造を形成している。	輸送用機械器具製造業の代表例である自動車産業は、一つの製品を完成させるために数万点の部品を必要とします。そのため、中部地方には組み立て工場だけでなく、部品を供給する関連工場が数多く集まっており、製造品出荷額において他業種を圧倒する規模となっています。他の選択肢は、電気機械、石油化学、鉄鋼業についての説明です。
問5	答え 1 輪島塗	石川県輪島市で生産される輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。北陸地方の湿潤な気候は漆の乾燥に適しており、古くから地場産業として発展してきました。福島県の会津塗、岩手県の南部鉄器、京都府の西陣織といった他の地域の伝統産業との違いを区別することが重要です。
問6	答え 3 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所	地形図において等高線が密集している部分は、傾斜が急な「崖」や「急斜面」であることを示しています。道路の北側に崖があり、南側に鉄道の地図記号が並行しているという記述から、山地や段丘崖と河川に挟まれたわずかな平坦地を、道路や鉄道といった交通インフラが効率的に利用している状況が判断できます。
問7	答え 4 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。	砺波平野の散村地域では、農業の生産性を高めるために「農業構造改善事業」が行われました。この事業では、不整形だった田んぼを四角く整える耕地整理とともに、大型のトラクターやコンバインが通行しやすいよう、曲がりくねっていた古い道路が直線状の道路へと作り替えられました。このため、現在の地図では規則正しい格子状の道路網が目立つようになっています。
問8	答え 4 静岡県	静岡県は、全国の茶の生産シェアの約四割を占める日本一の産地です。二〇一四年の統計データでは、一位の静岡県に次いで二位が鹿児島県（29.4%）、三位が三重県（8.1%）、四位が宮崎県（4.6%）となっており、静岡県が圧倒的なシェアを誇っています。牧之原台地などの広大な土地を利用した栽培が古くから盛んです。
問9	答え 3 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。	石川県は中部地方の中で、人口規模では愛知県などの大都市圏を下回りますが、日本海側の気候を活かした農業が展開されています。北陸地方の特徴として稲作（米）の割合が高いことが挙げられますが、石川県においては梨やぶどうといった果実の生産も農業産出額の中で特徴的な位置を占めています。統計を読み取る際は、単に「日本海側＝米」と思い込まず、果実などの他品目との組み合わせに注目することが重要です。
問10	答え 2 標高が高い地域の気候を利用し、平地の出荷が少なくなる夏季に合わせて生産・出荷している。	中部地方の山間部で行われるこの農業は、夏の冷涼な気候を「天然の冷蔵庫」のように利用している点が特徴です。高知県や宮崎県で見られる、温暖な気候や施設を利用して出荷時期を早める「促成栽培」とは、気候条件の利用の仕方が正反対になります。このように時期をずらして生産することを「抑制栽培」と呼ぶこともあります。
問11	答え 1 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。	川が山地から平地へ出たところに形成される扇状地は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下に浸透しやすい「水はけが良い」という性質を持っています。そのため、水が必要な稲作（水田）にはあまり向かず、果樹園や養蚕のための桑畑として利用されてきました。選択肢にある「川の最下流部」にできる地形は三角州であり、扇状地とは形成場所や性質が異なります。
問12	答え 2 金沢市	北陸地方に位置する石川県は、能登半島という特徴的な地形を持っています。その県庁所在地である金沢市は、北陸地方の政治・経済・文化の拠点として重要な役割を果たしており、歴史的には加賀藩の城下町として発展した背景があります。